

平成29年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

和田 欣子 (59歳) 三重県立四日市高等学校長

- ・公立高等学校教諭として家庭科教育の推進に尽力した。
- ・三重県教育委員会事務局充指導主事、室長、課長を務め、本県の教育活動の充実のみならず、本県教育行政の刷新に尽力した。
- ・公立学校長として、いなべ総合学園高等学校では、本県北勢地域唯一の総合学科を有する高等学校として、多様な生徒のニーズに応じた授業を展開するほか、地域住民に学びの場を提供する「学びのプラザ」を年間を通じて開講し、地域貢献を図るなど、同校のさらなる特色化に取り組んだ。四日市高等学校では、平成26年度に文部科学省から指定を受けて3年目を迎えたスーパー・グローバル・ハイスクール（SGH）事業を継承し、さらに活性化すべく力を尽くした。なかでも、研修で学んだことを発表し、議論を交わす「四高SGHスーパープレゼンテーション」という機会を設け、生徒が主体的に情報発信できるように努めた。

また、会議を見直し、一斉退校日を設けるなど、多忙化する教職員の勤務時間の縮減に向けて積極的に取り組み、教職員の働きやすい環境作りにも大きく貢献した。
- ・三重県高等学校長協会会長、副会長、書記、会計、監事として同協会の運営に尽力した。

平成29年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

川合 陽一郎

（60歳） 津市立橋北中学校長

- ・公立中学校教諭として、生徒の進路保障及び生徒指導、教科指導に尽力した。特に国語教育においては、三重県中学校国語教育研究会事務局長を務めるなど、三重県の国語教育の発展に寄与した。
- ・公立中学校教頭として、保護者や地域との協働・連携など、コミュニティスクールを推進するとともに、校区の小学校と連携した中学校教員による交流授業の実施など、小中一貫教育の充実に努め、津市の先駆的な教育活動の推進に尽力した。
- ・教育行政にあたっては、津市教育委員会事務局人権教育課人権教育担当副主幹及び主幹、津市教育委員会事務局人権教育課長、津市教育委員会事務局教育次長を歴任し、外国につながる子どもの進路保障のための就学ガイダンスの発足や、日本語指導を要する子どものための初期日本語教室「きずな」の充実など、同市教育行政の中心的役割を担い、多くの課題や重要案件の解決に尽力した。
- ・公立中学校長として、教育に対する高い見識と永年に亘る経験を大いに発揮し、教員、地域、保護者から絶大な信頼を得た。また、三重県中学校国語教育研究会会長を務めるなど、三重県の国語教育の発展に貢献した。  
平成28年4月から三重県小中学校長会副会長、平成29年4月から同会長を務め、三重県小中学校長の中心的な存在となって力強いリーダーシップを発揮し、三重県における教育課題の解決に力を尽くしている。

平成29年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

宇佐美 好孝（60歳） 四日市市立桜台小学校長

- ・公立小学校教諭として、教科指導に熱心に取り組み、特に体育科における学習指導においては授業研究や実践発表を積極的に行い、小学校体育学習の充実に力を注いだ。
- ・国立大学附属小学校教諭として、子どもの良さや可能性を伸ばす体育学習について追究し、その先進的な研究及び実践を発信し、多くの教員に絶大な影響を与え、小学校体育学習の発展に寄与した。
- ・公立小学校教頭として、その豊富な経験と確かな実践力で校長を補佐し、教職員の取りまとめ役として力を発揮した。また、校内外の環境整備を積極的に推進し、地域や保護者とのつながりの強い学校組織の構築に努め、職員、保護者、地域からの絶大な信頼を得た。
- ・教育行政にあたっては、四日市市教育委員会事務局指導課指導主事、同教育支援課特別支援教育相談グループの副参事兼GLを歴任し、子どもたちの病気の早期支援のためのネットワーク事業や、就学前からの途切れのない支援体制を目指した発達障害等早期支援事業の発足に尽力するなど、幅広い分野で同市の教育行政の充実・発展に貢献した。
- ・公立小学校長として、明確な学校づくりビジョンを示して学校経営に力を注ぎ同市小学校長の範となるとともに、平成29年4月から三重県小中学校長会副会長兼小学校部会長として活躍し、学力向上や体力向上、命を大切にする教育等、三重県全体の教育課題の解決に向けた取組の推進に貢献している。